

栗原将人研究室

代数的整数論、岩澤理論、 p 進コホモロジー

学生からのコメント

栗原研究室の学部4年の時尾響です。今年の研究室紹介を書かせていただくことになりました。栗原研は現在、数学専攻の研究室としては大所帯で、博士課程の先輩が4人、修士課程の先輩が6人、学部生が3人の13人の学生が在籍しています。毎週金曜日のセミナー後にみんなで食事をしたりと仲が大変良好で、先輩に相談や質問も気軽にできます。

学業に関しては、私たちの研究室では週に1回セミナーで高木貞治先生の「初等整数論講義」を読み進めてその内容を発表しています。フェルマーの最終定理などで有名な整数論ですね。「初等」と書いていても、群の作用を考えるなど、大学レベルの数学で整数論を学んでいます。発表は先生や博士・修士課程の先輩方にも参加していただいて、緊張感のある中でやっています。毎週発表に向けて準備している間は楽ではありませんが、初めは意味や有用性がわからなかったことが最後には理解できた時の達成感は筆舌に尽くしがたいです。

栗原研では学業以外のイベントも充実しています。毎年恒例の野球の早慶戦の応援にいきます。特に今年は数理学科の堀野君が主将なので応援に力が入ります。研究室のOB・OGの方も参加されているので、OB・OGの方からの有意義な話を伺うこともできます。

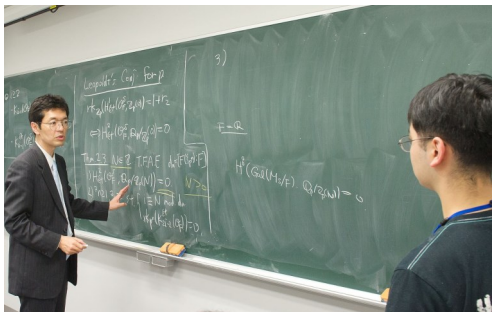
他にも定期的に飲み会があったり、夏には合宿に行きます。合宿では先生に課題を与えられ、発表



します。勉強以外にもバーベキューや飲み会、草野球や蓼科山の登山など盛りだくさんです。特に蓼科山は日本百名山のひとつで、普段運動をできる限りしないようにしている私にはかなりつらかったのですが、山頂まで登った時の景色は格別でした。数学の証明に通ずるものがありますよね。それ以外にも、夜遅くまで飲み会をしているにもかかわらず毎朝六時に起きて湖の周りをジョギングします。同時に出発したはずなのに先生に置いて行かれる時には算数の問題によくある、湖の周りを走る兄弟の弟の気持ちがわかった気がしました。

数学が得意という方、整数や素数に興味がある方はもちろん、数学に苦手意識がある方も遅すぎるということはありません。論理的に考察を重ねるという楽しさを、また整数の魅力を、栗原研で感じてみませんか？

教員からのコメント



整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。

ちょうど、山に登ったときに、上に行けば行くほど美しい景色が広がるように、先に進めば進むほど、美しい景色が広がります。写真を撮ってきて、見せてあげたいとも思いますが、やはり写真では本物の感動は伝わらないようです。自分で汗をかいて登ってみて、初めてめぐり合える景色は格別です。数理科学科に来て、数学を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかると思います。

皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。なお、整数論は代数系に分類されていますので、まずは代数を勉強してほしいと思います。今までの数学が苦手な人でも、これからの勉強で代数系の科目は十分に間に合います。要は興味を持って自分で進むことです。数理科学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。

栗原 将人